

子どもたちの心豊かな成長を願って

～安全・安心な自然体験活動の環境づくりが引き出す子どもたちの生きる力～

「甲賀市青少年活動安全誓いの日」となる7月31日、甲賀市青少年活動安全誓いのつどいを、あいこう市民ホールで開催しました。当日は市民の皆さんをはじめ、市職員、青少年活動関係者など約620人の参加がありました。

つどいでは、平成19年7月31日、高知県四万十川での水難事故でお亡くなりになったお二人への黙祷をささげ、青少年の自然体験活動をはじめ、市全ての事業の安全確保に全力を挙げて取り組むことを誓いました。

続いて市の安全管理の取り組み報告と講演会を行いました。

講演では、日本野外教育学会会長の永吉宏英氏から「子どもの成長にとって自然体験活動は教育的価値があり大切なこと。万全の対策を講じた上で積極的に取り組んでほしい」と、自らの体験や映像を交えて、お話しいただきました。

市では、これまで10年の取り組みや、多くの講師の方々からいただいたご指導・ご助言をもとに、今後も事故を忘れることなく、お亡くなりになったお二人の命を、将来の甲賀市を担う青少年の心豊かな成長に生かし続けるため、安全・安心な青少年活動の推進をはじめ、市全体の安全・安心なまちづくりに取り組んでいきます。



▲子どもたちの「生きる力」について講演する永吉氏

社会教育課 青少年育成係
問合せ TEL 86-8022 FAX 86-8380



▶甲賀方面隊の光る技



▶大会のスタートを飾った信楽方面隊



- ポンプ車の部**
 - 甲南方面隊
 - 指揮者 福井 洋
 - 一番員 岸本政義
 - 二番員 寺井亮祐
 - 三番員 鋒山 豊
 - 四番員 阿部直斗
 - 要員 平野裕樹
 - 要員 村山雅彦
 - 信楽方面隊
 - 指揮者 今澤幹生
 - 一番員 和田裕貴
 - 二番員 中西一平
 - 三番員 中嶋龍司
 - 要員 山本 亮
 - 要員 赤木一行
- 小型ポンプの部**
 - 土山方面隊
 - 指揮者 小倉 栄
 - 一番員 三上豊貴
 - 二番員 大家光久
 - 三番員 小倉寛和
 - 四番員 堀田弘貴
 - 要員 大家和也
 - 要員 辻 佳祐
 - 甲賀方面隊
 - 指揮者 清水功典
 - 一番員 窪崎広二郎
 - 二番員 澤井利彦
 - 三番員 奥田幹史
 - 要員 北澤 学
 - 要員 廣瀬浩次
 - 吸管補助員 富山和也

第52回滋賀県消防操法訓練大会が7月30日、滋賀県消防学校で開催されました。市内からはポンプ車の部に土山・甲南方面隊が、小型ポンプの部に甲賀・信楽方面隊が出場しました。数力月に及ぶ訓練の結果、甲南方面隊は好タイムで、見事優勝しました。土山・信楽方面隊もそれぞれの部で準優勝を勝ち取り、甲賀方面隊も訓練の成果を十分に発揮するなど、甲賀市消防団の団結力を示しました。出場された選手の方々は次のとおりです。(敬称略)



▲土山方面隊の力強い操法



▲優勝した甲南方面隊

選手疾走、優勝をつかむ

第52回滋賀県消防操法訓練大会

いざという時のために

一人ひとりが風水害への備えを

9月は、台風やゲリラ豪雨が多く発生する時期ですが、大雨による警報や避難勧告が出たとき、避難しなくても大丈夫だろうと思う人も多いのではないのでしょうか。

しかし、雨の降り方は近年激化しており、今までの考えが命をおびやかす可能性があります。

避難勧告発令！あなたの心境をチェックしてみましょう。

- 雨がたくさん降っているけど気にしない
- これまで大雨による被害を受けたことはないから、今回も大丈夫だろう
- 周りの誰も避難していないし、自分も避難しなくて大丈夫だろう
- 一つでも該当する場合、いざというときに適切な避難行動を取れない可能性があります。

●早めに「命を守る行動」を

市内には、浸水や土砂災害危険区域が多く存在し、大雨や地震に伴って大規模な水害・土砂災害が起きる可能性もあります。市では防災マップの配布等により防災対策の強化に努めています。災害から命を守るためには市民の皆さん一人ひとりの正しい判断と行動が大切です。

●避難行動は状況に応じて判断

危険な場所から離れることが基本です

土砂災害が起こる恐れのある地域から離れた指定緊急避難場所や親せき・知人の家など、安全な場所へ避難しましょう。

●外出が危険な場合は自宅で

雨脚が強いときなど、外への避難がcaえて危険な場合は、浸水や土砂が流れ込む恐れのない建物の2階に移動することも避難行動の一つです。状



況に感じ、最適な避難行動を判断するためには、日頃から危険な場所や避難ルートを確認し、災害時の対応をイメージしておくことが大切です。

●避難情報の種類ととるべき行動

避難情報の種類	避難準備情報 (避難準備・高齢者等避難開始)	避難勧告	避難指示 (緊急)
危険度	低		高
とるべき行動	いつでも避難できるように準備をはじめてください。特に、避難行動に時間を要する方は、避難所などの安全な場所へ避難行動を開始してください。	身の安全を確保し、家庭、近所で助け合いながら避難所などへ避難をはじめてください。浸水等が始まってからの避難は危険です。状況に応じて、自宅の2階以上へ避難をしてください。	ただちに避難をしてください。避難所への移動が困難と思ったら、自宅の2階以上や近所の頑丈で高い建物へ避難しましょう。